

おこない における ゆうしゅうさ の つきゅう について

しんあいなる ムスリムの みなさま！

ぼうとうに ろうどく された しょうくを とおして、ぜんのうの アッラーは つぎの ように つげて  
おられます。「**ぜんりょうな おこないを しなさい。アッラーは おこないの ぜんりょうな ものを  
あいする。**」<sup>1</sup> また、ハディースの なかで、あいすべき よげんしゃ (saw) は つぎの ように かたって  
います。「**アッラーは、かんぺきな ほうほうで しごとを おこなう ものを あいする。**」<sup>2</sup>

しんあいなる しんこうしゃの みなさま！

わたしたちの すうこうな しゅうきょうで ある イスラームは、なにかを おこなうなら てきせつに  
おこなう よう めいじて います。できる かぎり、さいぜん かつ もっとも ただしい ほうほうで  
ものごとを なしとげる ために、あらゆる どりよくを する よう すすめて います。てきせつで ない  
おこない や すうはい、たいど、ふるまいは、のぞましく ない もの として みなされます。

しんあいなる しんこうしゃの みなさま！

ムスリムには、じかんを かしこく つかい、みずから こうどう することにより、さいだいの けっかを  
だすことが もとめられて います。みずからの こうどうにより さいだいの けっかを だすには、まず  
は ぜんりょうな ニイヤを もち、つぎに すうはいの よろこびを もって みずからの おこないを  
りっする ことが かんじん です。

しんあいなる ムスリムの みなさま！

なにを するにも ゆうしゅうさを はつき できる ように することは、アッラー (SWT) に たいして、  
また たしやに たいして はたすべき わたしたちの せきにん です。しゅ (SWT) の おんまえで  
もうしひらきを しなければ ならない にも かかわらず、じぶんの せきにんを ほうき する という  
ことは、ほんしつてきには じぶんじしんを だまして いるのとおなじ こと です。アッラー (SWT)  
の スンナに したがって こうどう し、ひつようと される ことは すべて おこない、その のち は  
しゅのおはからいに まかせる ひと こそ、げんせ と らいせ の りょうほうで せいこう する ひと  
であることを わすれない ように しましょう。

ほんじつの ホトバを、つぎの しょうくを もって おわります。「**ほんとうに、しんじて ただしい  
おこないを する もの には、われらは、その ぜんりょうな おこないの ほうしゅうを けっして むい  
に しない。**」<sup>3</sup>

<sup>1</sup> Baqarah, 2/195.

<sup>2</sup> Bayhaqi, Shu'ab al-Iman, 4/334.

<sup>3</sup> Kahf, 18/30.